

第59回神戸市環境保全審議会

令和7年11月21日

資料5

# 環境マスタープラン年次報告書

## 構成案

# 神戸市環境マスタープランとは

望ましい環境像

## 自然と太陽のめぐみを未来につなぐまち・神戸

計画期間：2016年度～2025年度

### ■ 計画の位置づけ

神戸市環境マスタープランは「神戸市民の環境をまもる条例」に基づき、神戸市の健全で快適な環境の確保に関する基本的な計画です。

神戸市基本計画と連携・相互補完関係にある環境部門の計画として位置付けられ、環境関連の個別計画とも連携を図っています。

### ■ 計画の構成



「望ましい環境像」を最上位とし、4つの基本方針、22の目標、基本施策・重点施策で構成されます。

### ■ 4つの基本方針

二酸化炭素の排出が少ない  
くらしと社会を目指します。

資源を有効利用し、ごみができるだけ発生しない  
くらしと社会を目指します。

生物が多様で  
自然な恵みが豊かな  
くらしと社会を目指します。

安全・安心で  
快適な生活環境のある  
くらしと社会を目指します。

計画を推進するにあたって必要な事項

すべての主体  
の協働と参画

環境教育  
環境学習

計画の  
進行管理

# 2024年度 主要実績

市域全体の温室効果ガス排出量  
(2013年度比)

**33.3%**  
削減

(2023年度実績)

家庭系ごみ排出量  
(2013年度比・1人1日当たり)

**13.4%**  
削減

(2024年度実績)

神戸市で見られる生きものの種数

**7,999種**

(2020年度調査)

大気質・水質・土壌・騒音等の  
環境基準達成状況

**おおむね  
達成**

(2023年度実績)

**未達成**

目標値  
2030年度までに  
2013年度比60%削減

**達成**

目標値  
2025年度までに  
2013年度比10%削減

**維持**

目標値  
神戸市で見られる生きものの種数  
約8000種を維持

**達成**

目標値  
環境基準等の達成

# 基本方針 1 二酸化炭素の排出の少ない暮らしと社会をめざします

## 取り組み概況

### 取り組み目標

|  | 2013年度実績<br>(基準年度) | 2030年度<br>目標値   |
|--|--------------------|-----------------|
| 市域の温室効果ガス排出量<br>(単位:千t-CO <sub>2</sub> ) | 12,392             | 4,597<br>(▲60%) |
| 再エネ導入量<br>(単位:MW)                        | 330                | 500             |

### 実績

|              | 2022年度実績       |
|--------------|----------------|
| 市域の温室効果ガス排出量 | 8,599 (▲30.6%) |
| 再エネ導入量       | 344 (+37.6%)   |

### 市域の温室効果ガス排出量の推移



### 市域の温室効果ガス排出量部門別内訳

| 統計区分  | 2013年度<br>(基準年度) | 2021年度<br>実績<br>(2013年度比) | 2022年度<br>実績<br>(2013年度比) | 前年度か<br>らの増減<br>(前年比) |      |      |      |      |       |
|-------|------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------|------|------|------|------|-------|
|       |                  |                           |                           | 二酸化炭素                 | 産業部門 | 業務部門 | 家庭部門 | 運輸部門 | 廃棄物部門 |
| 二酸化炭素 | 5,194            | 2,041<br>(▲60.7%)         | 2,495<br>(▲52.0%)         | 454<br>(+22.2%)       |      |      |      |      |       |
| 産業部門  | 2,345            | 1,502<br>(▲35.9%)         | 1,774<br>(▲24.4%)         | 272<br>(+18.1%)       |      |      |      |      |       |
| 業務部門  | 2,078            | 1,524<br>(▲26.6%)         | 1,640<br>(▲21.1%)         | 116<br>(+7.6%)        |      |      |      |      |       |
| 家庭部門  | 1,992            | 1,679<br>(▲15.7%)         | 1,756<br>(▲11.8%)         | 77<br>(+4.6%)         |      |      |      |      |       |
| 運輸部門  | 266              | 277<br>(+8.7%)            | 302<br>(▲8.5%)            | 24<br>(+1.8%)         |      |      |      |      |       |
| 合計    | 12,392           | 11,411<br>(▲37.5%)        | 8,599<br>(▲30.6%)         | 858<br>(+11.1%)       |      |      |      |      |       |

### 掲載イメージ

### 市域の再エネ導入量推移（単位:MW）

| 2019<br>年度 | 2023年度<br>(2019年度比) | 2024年度<br>(2019年度比) | 前年度か<br>らの増減   |
|------------|---------------------|---------------------|----------------|
| 250        | 330<br>(+32.0%)     | 344<br>(+37.6%)     | +14<br>(+4.2%) |

## 現状と課題

### 現状

- 温室内効果ガス排出量は、基準年度(2013年度)より30.6%減少、前年度より11.1%増加した。
- 産業、業務、運輸部門において最終エネルギー消費量が増加したことや、関西電力の二酸化炭素排出係数が増加(2021年度0.309→2022年度 0.420 [kg-CO<sub>2</sub>/kWh])したことなどにより、前年度から増加したと考えられる。
- 廃棄物部門では、ごみ全体の量は減っているが、排出係数の大きいプラスチック類の廃棄物量が増加しているため、温室内効果ガス排出量が増加したと考えられる。
- 再エネ導入量は、2019年度実績より37.6%増加、2023年度実績より4.2%増加している。

### 課題

- 2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、目標(2013年度比60%削減)を達成するためには、省エネルギーのさらなる徹底や、再エネの最大限の導入、新たな技術革新の推進等、あらゆる分野で、でき得る限りの取り組みを進め、温暖化対策をより強力に推進していく必要がある。

# 基本方針1 二酸化炭素の排出の少ない暮らしと社会をめざします

## 2024年度の主な施策・取組

### ■ 次世代自動車の普及啓発

- ・次世代自動車等の啓発イベント（兵庫カーライフフェスタ、EV:LIFE KOBE）で啓発を実施



### ■ 市内中小事業者を対象とした脱炭素経営伴走支援事業

- ・ひょうご脱炭素経営スクール  
2024年度 23事業者
- ・カーボンニュートラル経営支援事業  
2024年度 8事業者
- ・セミナー等による啓発  
2024年度 約6,500名

### ■ 住宅への太陽光発電の導入促進

(太陽光発電・蓄電池設備の共同購入事業)

|       |        |     |
|-------|--------|-----|
| 契約締結数 | 2024年度 | 19件 |
|       | 2023年度 | 17件 |

|  |        |                         |
|--|--------|-------------------------|
| こうべCO <sub>2</sub> バンク<br>のクレジット創出<br>(2024年度) | 太陽光    | 2,409 t-CO <sub>2</sub> |
|  | エネファーム | 4,842 t-CO <sub>2</sub> |

### ■ 環境省交付金事業「脱炭素先行地域」の取組

- ・2024年9月に採択
- ・対象エリア内企業による省エネ・再エネ導入の促進  
(2025年度からの5年間で6MWの再エネ導入を目指す)



### ■ ペロブスカイト太陽電池の実証実験

## (掲載イメージ)



### ■ クリーンセンターにおけるごみ発電（売電量）

|                  |        |                 |
|------------------|--------|-----------------|
| 売電量              | 2024年度 | 127,760,654 kWh |
|                  | 2023年度 | 130,586,022 kWh |
| バイオガス発電<br>(売電量) | 2024年度 | 10,677,952 kWh  |
|                  | 2023年度 | 5,731,776 kWh   |

### ■ こうべ油回収チャレンジ

#### ～Kobe Fry to Fly Project～

- ・2024年10月より市内4拠点で、家庭系廃食用油の回収を開始、持続可能な航空燃料(SAF)等として実証的に活用
- ・2025年3月まで約800Lを回収



### ■ 水素サプライチェーン構築実証

- ・製造、液化水素として国内へ輸送・貯留をする実証事業。2024年度は液化水素輸送船の国際基準改定に向けた、航行データの取得を行った。

### ■ 水素エネルギー利用システム開発実証

- ・水素を燃料とする水素CGSの開発事業。2024年度は、液体水素の冷熱活用に向けた技術開発を継続して実施した。

